

## 世界の共通課題…認知症対策

世界中で高齢化が進み、認知症者は現在世界で約5000万人、今後30年間で3倍にも増加すると予測されています。

今後ますます世界で増加していくなか、その対策が急務にもかかわらず、有効な治療法はいまだ見つかっていません。

社会的経済負担も大きく、その額は年間にして約100兆円を超え、2030年には約220兆円に膨れ上がるという試算が出されています。中国の認知症高齢者数は世界の65歳以上人口の約6%にあたる1000万人で、全世界の認知症者の約20%は中国人です。

特に中国の重度認知症者への対応は非常に遅れています。介護現場では、事例検討を踏まえたノウハウの蓄積はほとんど無く、スタッフの主観的な判断による介助が行われており、身体拘束も当たり前の状況です。

認知症はアルツハイマー病や脳卒中など、脳に影響を及ぼす様々な病気や傷害から生じ、記憶や思考、行動などにも影響を与えます。認知症者が

もし徘徊により事故が起きてしまったら、訴訟問

## 認知症ケア発展に兆し

題になりかねず、それこそ大問題。身体拘束は仕方がない」と言います。家族からの事前同意を得てはいるものの、安易に身体拘束している感が否めません。

一方、軽度

認知症や認知

症予防については、16年12月の国務院による高齢者ケア市場開放政策宣言以降、民間企業やNGO

のほか、外資も少なからず参入してきたため、予防プログラムが組ま

国内で少しずつ浸透しつつあります。軽度認知障

## 中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理  
稲田義人

著者プロフィール  
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。